

令和7年度 静岡県立浜松南高等学校第3回学校運営協議会議事録

I 日 時

令和7年12月19日（金）午後13時30分から15時30分まで

II 場 所

静岡県立浜松南高等学校 第一応接室

III 出席者

学校運営協議会委員

塩見 彰睦（静岡大学情報学部 教授）

奈木真由美（同窓会会長）

藤村 頼長（新津地区自治会連合会長）

森園 大介（PTA会長）

欠席者

川嶋 利幸（浜松ホトニクス中央研究所産業開発センター長）

林 左和子（静岡文化芸術大学文化政策学部 教授）

山下 広祐（有限会社春華堂経営サポート室 HOW`z 事業部）

学校職員

校 長 鈴木 学

副 校 長 向井 愛子

事 務 長 中村 光子

教務主任 後藤 健吾

欠席者

教 頭 山崎 修司

IV 内 容

1 校長挨拶

理数探究発表を参観していただき、理数探究についてご助言いただきたい。

また、西遠地区県立高校のランドデザインについてもご意見をいただきたい。

2 理数探究発表会参観

3 学校運営に関する協議（進行：塩見会長）

(1) 浜松南高校の探究学習について

ア 説明

(ア) 探究学習について

理数探究は授業の中に組み込まれている。自然事象や社会現象等について、

生徒の興味・関心、進路希望等に応じて個人又はグループで探究活動をおこなう。数学情報、理科、担任・副担任の11名の教員がついて、週1回及び夏休みに1週間程かけて研究し、本日発表をおこなっている。

(イ) 理数科の「総合的な探究の時間(1年)」「理数探究(2年)」

理数探究は、2年生から始まるが、1年生の3月に説明会を実施している。また、昨年度までは校内発表だけだったものを保護者や他校にも公開したり、全員が探究フェスタなど校外で発表するようにした。今後の課題として、研究途中に外部有識者の指導助言があったり、他校と合同で発表するなど外部との連携ができれば良いと思っている。

イ 協議

○どれくらいの期間やっているのか

→1年生の12月に他校の発表を見学に行き、3月に説明会をやり、2年生の4月から6月にかけて何をやるか決め、8月に1回目の実験ができればいい。その後は週1回くらい。

○最終的に課題ばかりが残り、何をしたいかわからなかった。課題からどういった方向にもっていきたいかといったところがあればもっと良かった。目的が明瞭でなかった。もっと広げていけば面白いものになるのでは。達成度合いをまとめとしてほしかった。

→やっているうちに興味関心が別のことに向いてしまい、目的を見失っていることがある。探究としては駄目ではないが、課題設定や課題解決、発表の構成といったところを改善していかないといけない。中間チェックも必要だと思う。

○探究の授業があることで、勉強も見方が変わって楽しく感じられるのでは。

○人前で話すということが良い経験になると思った。

○目的が何だったのか、何がやりたかったのかわからなくて、ストーリーの粗さを感じた。そこを教員が指導してあげた方がいいかもしれない。

→軌道修正できるように中間チェックが必要。他校の教員からの質問や助言をもらえたことが良かった。

○しずおか高校生探究フェスタの過年度の発表内容を見ることはできるのか

→簡単なパンフレットはある。昨年度から始まった。

(2) 今後の浜松南高校の在り方について

ア 校長説明

昨年度から西遠地区の高校の在り方の地域協議会が始まった。各校の後援会長又は同窓会長とオブザーバーとして校長が参加している。今後、県立高校の学校数やクラス数が減っていき、規模が小さくなれば統廃合といった可能性も出てくる。

本校は自学できる生徒の育成を特色として進学校として生き残りを目指そうとしているが、西遠地区県立高校のグランドデザインは、工業都市浜松が特に

強調されているので、アカデミックな部分がもう少し加わればと思っている。
今後の会議に向けてご意見をいただければと思う。

○本校は進学校として生き残りを目指しているが、なんでも有りの学校になると何を指すか、どういった生徒が集まってくるのかわからくなりそうで不安である。地元に残ってほしいという思いがこのようなグランドデザインになっているように思う。

○今は高校ごとに特色があって、中学生が勉強したい学校を選んでいるが、どの高校も同じような学校になっていくのか。

→そういうわけではないと思う。

○本校の自学ができる生徒の育成や、理数科の探究学習などがあるといったことは入学してから知った。中学生の保護者が、高校の特色を知ることができるようになると良い。中学校とも連携できればいい。今は、偏差値と公立か私立かで選択している。今の時代にあった広報の仕方を考えた方がいい。

4 今後の予定

令和8年2月12日(木) 13:30~15:30